



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 株式会社インバウンドテック 上場取引所 東
 コード番号 7031 URL <https://www.inboundtech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 東間 大
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 金子 将之 TEL 03-6274-8400
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	844	55.9	152	999.6	150	—	100	—
2022年3月期第1四半期	541	—	13	—	13	—	5	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 102百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 5百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	115.27	110.79
2022年3月期第1四半期	6.36	6.00

(注) 2022年3月期第1四半期連結会計期間末より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,758	2,454	51.5
2022年3月期	3,831	2,351	47.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,937百万円 2022年3月期 1,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,940	6.1	278	△4.6	264	△8.6	171	△6.5	196.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	871,600株	2022年3月期	871,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	一株	2022年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	871,600株	2022年3月期1Q	854,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド需要が依然として停滞していることから、マルチリンガルCRM事業における多言語分野に係る業務の受注はコロナ禍以前の水準には至っておりませんが、ワクチン接種受付業務や新型コロナウイルス感染者のサポート業務などの需要が継続しており、また、国内サービスにおけるカスタマーサポート業務の受託についても堅調な推移を見せております。当社グループにおいては株式会社シー・ワイ・サポート及び株式会社OmniGridがいずれも計画通りの進捗となりました。

セールスアウトソーシング事業においては、これまで主力業務であった訪問による東京電力グループへの電力切替勧奨業務が、今年度より既存顧客に対するクロスセル中心の営業形態となり、その結果、昨今の電力取引価格高騰における営業環境の急激な悪化を受けることなく、四半期を通じて活動が行われております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は844,077千円（前年同期比55.9%増）、営業利益は152,196千円（同999.6%増）、経常利益は150,974千円（同1,008.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は100,470千円（同1,749.3%増）となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。また、各事業分野のセグメント利益は、全社管理部門費用128,954千円を含まない額であります。

	前第1四半期連結 累計期間（千円）	当第1四半期連結 累計期間（千円）
売上高	541,503	844,077
営業利益	13,840	152,196
経常利益	13,624	150,974
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,432	100,470

・マルチリンガルCRM事業の概況

マルチリンガルCRM事業におきましては、日本語を含む12カ国語を活用し、外国人と日本人のコミュニケーション問題を解決する多言語・通訳ソリューションを24時間365日体制で提供しております。

新型コロナウイルス禍発生前においては、訪日外国人観光客の増加に伴い、今まで日本語のみで顧客対応をしていた企業の多言語化対応によって、当社の多言語化サポートを導入する取引先が拡大を続けてまいりましたが、訪日外国人観光客は依然として増加の兆しは見えておらず、多言語によるサポートニーズは低迷しております。しかしながら、企業のテレワーク推進による一次受付需要の発生やワクチン接種受付業務及び新型コロナウイルス感染者のサポート業務、日本語を中心とした国内におけるサポート業務の受託が安定して増加を続ける形となりました。これに加え、当社グループの株式会社シー・ワイ・サポート及び株式会社OmniGridがいずれも計画通りの進捗となり、当第1四半期連結累計期間における業績貢献を果たしております。

以上の結果、マルチリンガルCRM事業全体では、売上高は604,229千円（前年同期比81.5%増）、セグメント利益は204,813千円（同384.2%増）となりました。

	前第1四半期連結 累計期間（千円）	当第1四半期連結 累計期間（千円）
売上高	333,007	604,229
セグメント利益	42,295	204,813

・セールスアウトソーシング事業の概況

セールスアウトソーシング事業では、主に当社がクライアント企業に代わって見込みユーザーに対してインサイドセールス等を行っております。当第1四半期連結累計期間については、これまで主力業務であった訪問による東京電力グループへの電力切替勧奨業務が、今年度より既存顧客に対するクロスセル中心の営業形態となり、その結果、昨今の電力取引価格高騰における営業環境の急激な悪化を受けることなく、四半期を通じて活動が行われる形となりました。その他、大手携帯キャリアの契約切替勧奨業務など東京電力グループ外の案件についても予定通りの進捗となりました。

以上の結果、セールスアウトソーシング事業全体では、売上高は239,988千円（前年同期比15.1%増）、セグメント利益は76,337千円（同104.5%増）となりました。

	前第1四半期連結 累計期間（千円）	当第1四半期連結 累計期間（千円）
売上高	208,496	239,988
セグメント利益	37,325	76,337

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して73,141千円減少し、3,758,585千円となりました。これは流動資産が35,385千円減少し、固定資産が37,755千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して176,129千円減少し、1,304,334千円となりました。これは流動負債が140,132千円減少し、固定負債が35,997千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して102,988千円増加し、2,454,251千円となりました。これは利益剰余金が100,470千円増加し、非支配株主持分が2,517千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合は速やかに開示いたします。

なお、業績予想発表時に見込んでいた新型コロナウイルス感染症の影響については、2023年3月期末までは続くものと見込んでおりますが、業績への影響は現時点において軽微であると判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,657,625	1,801,011
売掛金	518,337	342,953
その他	154,868	151,306
貸倒引当金	△353	△179
流動資産合計	2,330,478	2,295,092
固定資産		
有形固定資産	60,420	58,172
無形固定資産		
のれん	793,210	771,613
顧客関連資産	399,750	389,500
その他	140,449	141,095
無形固定資産合計	1,333,409	1,302,209
投資その他の資産	107,417	103,110
固定資産合計	1,501,248	1,463,492
資産合計	3,831,726	3,758,585
負債の部		
流動負債		
買掛金	197,579	120,134
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	144,000	144,000
未払法人税等	77,419	45,819
賞与引当金	2,371	2,418
その他	218,089	186,955
流動負債合計	939,459	799,327
固定負債		
長期借入金	540,000	504,000
資産除去債務	1,003	1,006
固定負債合計	541,003	505,006
負債合計	1,480,463	1,304,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,367	547,367
資本剰余金	584,031	584,031
利益剰余金	705,351	805,821
株主資本合計	1,836,750	1,937,220
新株予約権	374	374
非支配株主持分	514,137	516,655
純資産合計	2,351,263	2,454,251
負債純資産合計	3,831,726	3,758,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	541,503	844,077
売上原価	459,395	560,136
売上総利益	82,108	283,941
販売費及び一般管理費	68,268	131,744
営業利益	13,840	152,196
営業外収益		
自動販売機手数料	2	2
その他	—	0
営業外収益合計	2	2
営業外費用		
支払利息	213	1,224
その他	5	—
営業外費用合計	218	1,224
経常利益	13,624	150,974
税金等調整前四半期純利益	13,624	150,974
法人税、住民税及び事業税	5,999	44,224
法人税等調整額	2,192	3,762
法人税等合計	8,191	47,986
四半期純利益	5,432	102,988
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2,517
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,432	100,470

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	5,432	102,988
四半期包括利益	5,432	102,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,432	100,470
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2,517

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マルチリンガル CRM事業	セールスアウト ソーシング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	333,007	208,496	541,503	—	541,503
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	333,007	208,496	541,503	—	541,503
セグメント利益	42,295	37,325	79,621	△65,780	13,840

(注) 1. セグメント利益の調整額△65,780千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「マルチリンガルCRM事業」セグメントにおいて、株式会社シー・ワイ・サポートの株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において、42,656千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マルチリンガル CRM事業	セールスアウト ソーシング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	604,088	239,988	844,077	—	844,077
セグメント間の内部売上高 又は振替高	140	—	140	△140	—
計	604,229	239,988	844,218	△140	844,077
セグメント利益	204,813	76,337	281,150	△128,954	152,196

(注) 1. セグメント利益の調整額△128,954千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。